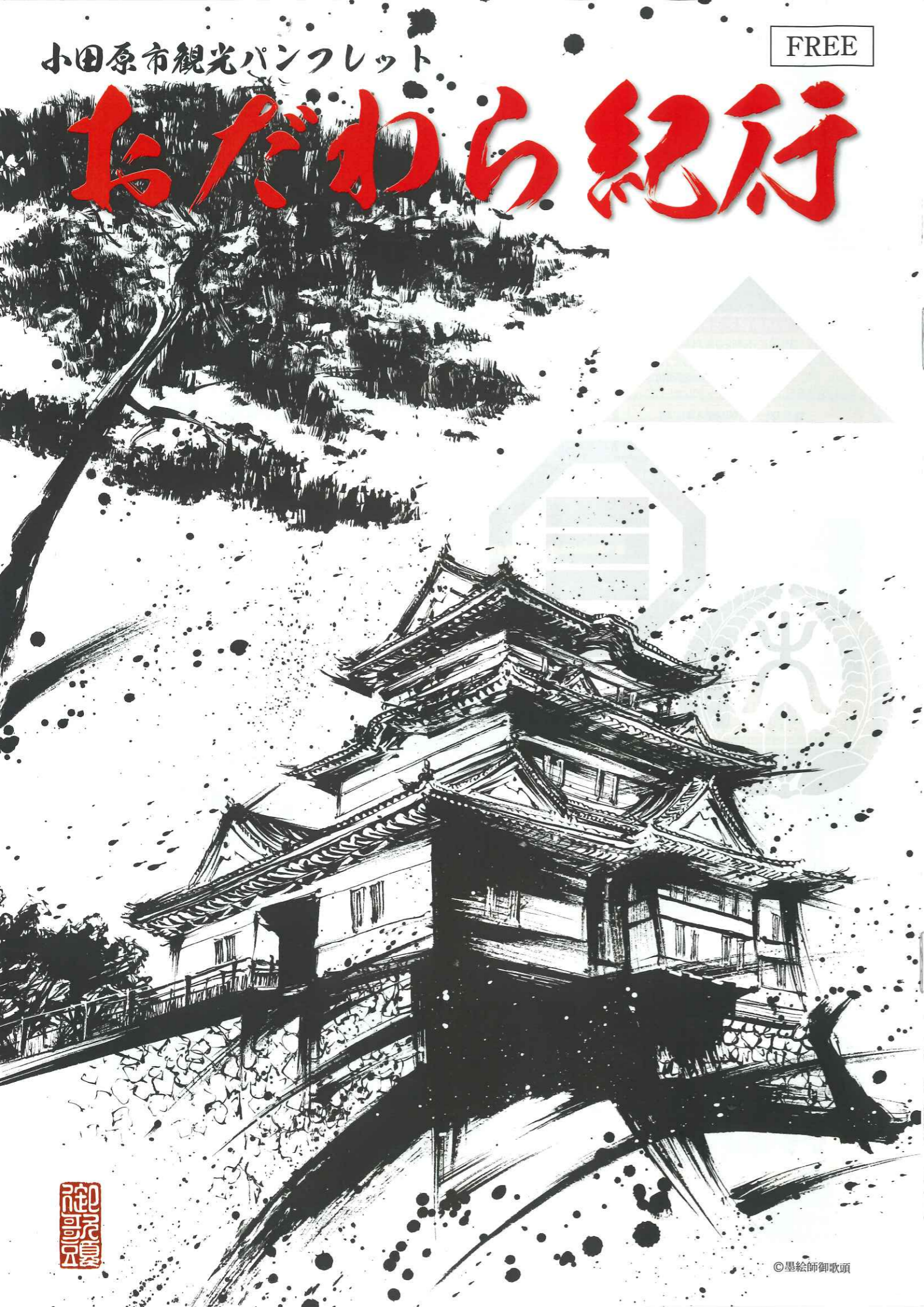


# おだわら紀行

「おだわら紀行」



企画 小田原市観光課  
発行 小田原市観光課  
〒250-8555  
小田原市荻窪300

©墨絵師御歌頭

## カレンダー

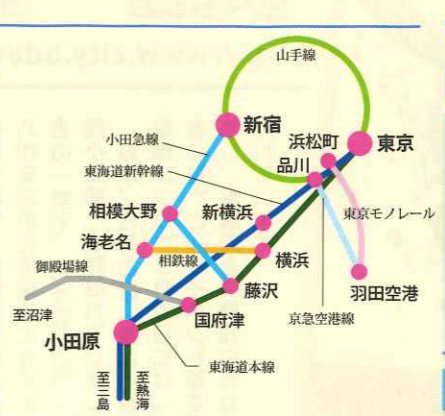
.....◆ 花 ◆.....

.....◆ イベント ◆.....

<p>梅</p> <p>曾我梅林</p> <p>桜</p> <p>城址公園・フラワーガーデン・辻村植物公園</p> <p>つじ</p> <p>城址公園</p> <p>藤</p> <p>城址公園</p> <p>花菖蒲</p> <p>城址公園・フラワーガーデン</p> <p>紫陽花</p> <p>城址公園・フラワーガーデン</p> <p>薔薇</p> <p>城址公園</p> <p>はす</p> <p>城址公園</p> <p>菊</p> <p>城址公園・さる菊園</p> <p>紅葉</p> <p>松永記念館 老櫓社</p>	<p>1月</p> <p>小田原元旦初泳ぎ (御幸の浜 1月1日)</p> <p>板橋地蔵尊大祭 (宗福院 1月23・24日)</p> <p>初天神 (菅原神社 1月25日)</p> <p>満福寺の火伏まつり (満福寺 1月28日)</p> <p>2月</p> <p>小田原梅まつり (曾我梅林ほか 2月初旬から3月初旬)</p> <p>菓子祭り (ハルネ小田原ほか 2月下旬の土日)</p> <p>根府川おかめ桜まつり (根府川地区 2月下旬から3月中旬)</p> <p>3月</p> <p>尊徳マラソン (小田原アリーナほか 3月中旬)</p> <p>小田原桜まつり (城址公園ほか 3月下旬から4月上旬)</p> <p>小田原かまほこ桜まつり (城址公園 3月下旬)</p> <p>4月</p> <p>小田原おでんサミット (城址公園 4月上旬の土日)</p> <p>5月</p> <p>小田原北條五代祭り (城址公園とその周辺 5月3日)</p> <p>小田原あじ・地魚まつり (小田原漁港 5月下旬の日曜日)</p> <p>曾我の傘焼まつり (曾我の里 5月下旬)</p> <p>6月</p> <p>小田原城あじさい花菖蒲まつり (城址公園 6月上旬から下旬)</p> <p>7月</p> <p>小田原ちようちん夏まつり (城址公園とその周辺 7月下旬の土日)</p> <p>8月</p> <p>小田原酒匂川花火大会 (酒匂川スポーツ広場 8月第1土曜日)</p> <p>小田原みなとまつり (小田原漁港 8月第1日曜日)</p> <p>板橋地蔵尊大祭 (宗福院 8月23・24日)</p> <p>忍者の里風魔まつり (城址公園 8月下旬の土日)</p> <p>9月</p> <p>宗我神社祭礼 (宗我神社 9月下旬)</p> <p>10月</p> <p>小田原おでん祭り (城址公園 10月中旬の土日)</p> <p>一夜城まつり (石垣山一夜城歴史公園 10月中旬の日曜日)</p> <p>11月</p> <p>小田原城菊花展 (城址公園 11月3日から15日)</p> <p>城下町おだわらツアーデーマーチ (城址公園ほか 11月第3土日)</p> <p>農業まつり (城址公園 11月第3土日)</p> <p>12月</p> <p>秋葉山火防祭 (秋葉山量覚院 12月6日)</p> <p>飯泉観音だるま市 (飯泉山勝福寺 12月17・18日)</p> <p>除夜の鐘 (鐘楼 (市民会館横) 12月31日)</p>
---	---

### 交通アクセス

鉄道	
東京	JR東海道新幹線 小田原 .....35分
新大阪	JR東海道新幹線 小田原 .....こだま3時間30分 ひかり2時間30分
東京	JR東海道本線 小田原 ...1時間25分 快速1時間15分
新宿	JR湘南新宿ライン 小田原 ...1時間30分 特別快速1時間15分
新宿	小田急ロマンスカー 小田原 ...1時間15分
新宿	小田急線快速急行 小田原 ...1時間25分



### 《観光お問い合わせ》

◆小田原市観光課 ☎0465-33-1521 ◆(一社)小田原市観光協会 ☎0465-22-5002  
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/> <http://www.odawara-kankou.com>

### 《通訳ガイド》

◆小田原箱根SGGクラブ (小田原・箱根地区善意通訳者の会)  
<http://www.ohsgg.com/>



**小田原宿なりわい交流館**

昭和初期に建てられた旧網問屋をリニューアルした施設で、観光案内やまち歩きのお休み処として、ご利用いただけます。

小田原駅東口から徒歩15分  
10:00~19:00  
(11月~3月は10:00~18:00)  
無料  
12/31



**かまぼこ通り**

この地域は北条氏の時代から「船方村(ふなかつむら)」と呼ばれ、漁師に親しまれ、現在では、かまぼこ各社の本店が軒を連ねる「小田原かまぼこ通り」となっています。かまぼこ店だけでなく、海がもたらす豊富な漁場、良質な水を活かした干物屋、鯉節屋、料亭、飲食店、和菓子屋などこの通りにあります。

小田原駅東口から徒歩15分



**豆相人車鉄道の小田原駅跡**

かつて、人が客車を押すという世界的にも珍しい鉄道が、小田原~熱海間を走っていました。当時の小田原駅は、突っ込み式の木造車庫と入れ替え用のポイントがあっただけでした。現在、国道1号沿いに駅跡を記す石柱があります。

箱根登山線箱根板橋から徒歩10分



**小田原漁港**

アジをはじめとした相模湾の新鮮な魚介類が毎日水揚げされます(セリは非公開)。周辺には、鮮度が評判の飲食店が数多くあるほか、小田原ちょうちんを模した白灯台もあり、休日には多くの観光客が訪れます。また、土曜日の朝は、港の朝市が開催されます。

JR早川駅から徒歩1分



**港の朝市**

干物やかまぼこなど  
7:00~10:00  
とれたての魚  
9:00~売り切れ



**北条氏政・氏照の墓所**

四代氏政と弟氏照(八王子城主)の墓所。お参りすると幸せな出会いがあるといわれ、願いが叶った時、鈴を納めるのが習わしとなっています。

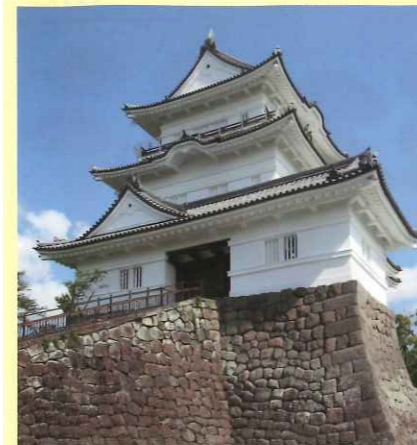
小田原駅東口から徒歩3分



**北條早雲公像**

千頭の牛の角に結ばれた松明が火の粉をはぜ、無血にして小田原城を手中にしたといわれる「火牛の計」を再現した像。像高5.7m、重さ7tは日本最大級です。

小田原駅西口から徒歩1分

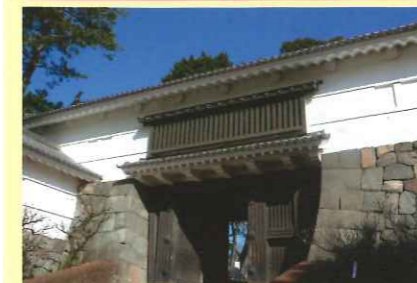


**小田原城天守閣**

昭和35年(1960)に市制20周年記念事業として、江戸時代の姿に復興されました。最上階からは、市街地や相模湾などを一望できます。平成28年5月1日にリニューアルオープンしました。

9:00~17:00(最終入館16:30)  
大人500円、小・中学生200円  
12/31、12月第2水曜日

**常盤木門**



昭和46年(1971)に再建。門の傍らに立つ巨松にちなんで、その名がつけられたと伝えられています。



《常盤木門 SAMURAI 館》平成28年10月オープン  
武士の精神性や武具の美術性にスポットを当てた展示をご覧ください。

9:00~17:00(最終入館16:30)  
大人200円、小・中学生60円  
12/31、1/1

**甲冑・忍者の館！小田原城情報館**



甲冑・忍者・打掛の着付け体験ができます。

9:00~16:00(貸出受付15:30まで)  
大人(中学生以上)300円、  
小人(小学生以下)200円  
常盤木門(本丸広場内)



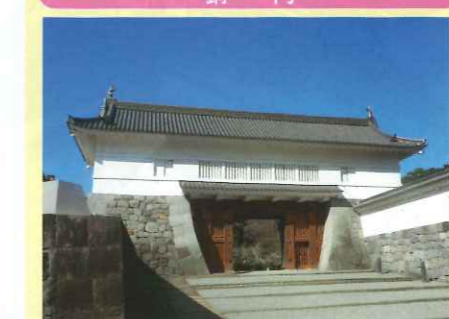
天守閣が立つ本丸を中心とした城址公園。梅・桜・つつじ・藤・花菖蒲・あじさいやハスなどの季節の花の名所としても知られ、市民や観光客の憩いの場になっています。

小田原駅東口から徒歩10分  
0465-23-1373  
観光バス・障がい者車両駐車場あり(有料)  
※一般車は周辺の有料駐車場をご利用ください。

**城址公園及び周辺スポット**

〈凡例：●市街地図(P8-P9) ●全体マップ(P10-P11)〉

**銅門**



平成9年(1997)に復元。本丸へと通じる大手筋に設けられた柵形門です。現在、土・日・祝日限定で内部を特別公開しています。

**歴史見聞館**



小田原城の始まりから現在に至るまでの歴史を、音声や模型、映像で楽しむことができます。

9:00~17:00(最終入館16:30)  
大人300円、小・中学生100円  
12/31、1/1

**馬出門**



平成21年(2009)に復元。馬出門と内冠木門の2つの門を配した構造となっています。

**小田原市郷土文化館**



市内で出土した土器や石器等の考古資料や奈良時代の千代寺院跡をはじめ、小田原北条氏や小田原藩時代の資料など、小田原市の歴史を知ることができます。

9:00~17:00  
無料  
12/28~1/3

料金等については、2017年11月現在のものです。

「町をたのしむなら、小田原さんぽ！」  
「城をたのしむなら、小田原城展示ガイドアプリ！」

**小田原さんぽ**  
ODAWARA  
ダウンロード無料

App Store, Google Playから「小田原さんぽ」で検索  
もしくは、上記のQRコードからアクセスしてください。

App Store, Google Playから「小田原城ガイド」で検索  
もしくは、下記のQRコードからアクセスしてください。

**小田原城展示ガイド** 検索

展示案内  
天守閣内の情報ポイントに近づくと付近の展示解説が表示されます。また、展示物に撮影された番号を入力することで解説をご覧いただけます。

4言語対応  
言語は、日本語・英語・簡体字・繁体字から選ぶことができ、表示にはない解説もご覧いただけます。

入場料割引  
天守閣・歴史見聞館の窓口で画面を提示すると入場料が1割引になります。

アプリ利用 無料  
iOS7以上のiPhone、OS4.3以上のAndroidスマートフォンでお楽しみいただけます。

ダウンロードはこちらから  
App Store、Google Playから「小田原城ガイド」で検索  
もしくは、下記のQRコードからアクセスしてください。

「バーチャル歴史探索」  
AR機能で歴史体験！  
歴史やレジャー等の観光スポット情報、オススメのモデルコース情報など、このアプリひとつで、小田原をまるごと楽しむことができます。  
まずはダウンロード！  
※英語版・中国語版もあります。

天守閣内のこちらのマークの付近で展示解説がご覧いただけます。

**御幸の浜** F-6

明治6年(1873)、明治天皇と皇后がそろって立ち寄ったことから、「御幸の浜」といわれています。元旦には、日の出とともに初泳ぎが行われ、夏は海水浴客で賑わいます。

- 小田原駅東口から徒歩15分
- 周辺の有料駐車場を利用



**江之浦海水浴場** G-1

- 小田原駅東口から湯河原真鶴方面行きバス「江の浦港」下車徒歩3分
- あり(有料)



**いこいの森** D-4

森林浴やバーベキュー、木工芸体験など外で遊べる施設が豊富です。夏休み期間中には、キャンプ場もオープンします。

- 小田原駅からいこいの森行きバス終点下車すぐ
- 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始
- ※キャンプ期間中は無休
- 0465-24-3785



**小田原フラワーガーデン** C-5

3~5月に見頃を迎えるヒスイカズラをはじめ、300種の熱帯果樹や花が楽しめるトロピカルドームのほか、2月には約200種の梅が一面に広がる梅林、3月下旬からは桜、5月中旬からはバラ園、6月は花菖蒲など、四季折々の花を鑑賞できます。

- 小田原駅東口からフラワーガーデン行きバス終点下車すぐ
- 大雄山線飯田岡駅から徒歩20分
- あり(無料) 9:00~17:00
- トロピカルドーム 大人200円、小・中学生100円
- 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日直後の平日、年末年始
- 0465-34-2814

**遊べる、憩えるスポット**

**県立生命の星・地球博物館** E-3



恐竜やアンモナイトの化石展示をはじめ、地球・生命・神奈川・共生の視点から46億年の地球の歴史を紹介しています。

- 箱根登山鉄道入生田駅から徒歩3分
- あり(無料)
- 9:00~16:30(最終入館16:00)
- 20歳以上520円、20歳未満・学生300円、高校生・65歳以上100円、中学生以下無料
- 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、館内整備日、祝日の翌日
- 0465-21-1515

**県立おだわら諏訪の原公園** C-5



里山の自然や生活文化とのふれあいを通して、遊びながら学ぶことができる公園です。全長169mのローラーすべり台は、子どもたちに人気です。

- 小田原駅からフラワーガーデン行きバス終点下車すぐ
- 大雄山線飯田岡駅から徒歩20分
- あり(無料)
- 3月~11月 8:30~18:00 12月~2月 8:30~17:30
- 0465-34-0404

**こどもの森公園わんぱくらんど** D-4



こども列車やポニーに乗って遊べるほか、多くのアスレチックもあり、小さいお子さまも楽しめます。また、春には観桜スポットとしても賑わいます。

- 小田原駅からいこいの森(わんぱくらんど)行きバス「辻村植物園」または終点下車すぐ
- あり(有料) 9:00~16:30
- 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始
- ※GW・夏休み期間中は無休
- 0465-24-3189



戦国時代、小田原北条氏が築いた堀で、幅が20~30m、堀底から土塁上部までは約12mあり、法面は50度という急な勾配で、全国的にも最大規模のものといえ、現在でも堀底を歩くことができます。西堀も公開しています。

- 小田原駅西口から徒歩15分
- 小田原駅から水之尾方面行きバス「城山四丁目」下車すぐ



治承4年(1180)、源頼朝と平家の軍勢が合戦となった石橋山。佐奈田霊社は、この戦いで、壮絶な討ち死にを遂げた佐奈田与一を祀っています。

- 小田原駅から江之浦・湯河原方面行きバス「石橋」下車徒歩10分
- あり(無料)
- 0465-22-8554(佐奈田霊社)

**二宮尊徳と尊徳記念館・生家** C-7



江戸時代、小田原は宿場町として栄えた反面、酒匂川の洪水や富士山の噴火、大地震が相次ぎ、農民は貧困極まりない生活を余儀なくされました。そんな中、二宮尊徳は、多くの本や体験から学んだことを行動に移し、600か所以上の町や村を復興させ、生涯を通して実践主義を貫き、農業、経済、土木など広い分野で持ち前の指導力を発揮しました。生誕の地である栢山には、生家と彼の生涯・教養を学べる記念館があります。

- 小田急線栢山駅または富水駅から徒歩15分
- あり(無料)
- 9:00~17:00(最終入館は16:30まで)
- 大人200円、小・中学生100円
- 12/28~1/3
- 0465-36-2381

**石垣山一夜城歴史公園** E-3



天正18年(1590)、豊臣秀吉が小田原合戦の本営とした城の跡地。一夜のうちに城を築城したように出現させたという伝承から、この名がつけました。本丸物見台からは、小田原城下はもちろん、丹沢山系、相模湾を見ることができるほか、4~5月頃にはアヤマ科のシヤガが見頃を迎えます。また、駐車場に隣接する一夜城コロイツカファームマルシェでは、地元の新鮮な農産物を購入できます。

- JR早川駅から徒歩50分
- 箱根登山線入生田駅から徒歩60分
- あり(無料)



久野地区には、数多くの古墳が分布しており、4号及び15号墳は復元され、見学することができます。

- 小田原駅からフラワーガーデン方面行きバス「諏訪原」下車徒歩5分



童謡「めだかの学校」は、作詞した茶木滋氏がこの付近で息子と交わした会話を基にして作られたといわれています。水車小屋のある親水公園として整備されています。

- 小田原駅西口から徒歩15分
- 小田原駅西口から市役所方面行きバス「税務署前」下車徒歩3分

# 小田原ゆかりの偉人と邸園めぐり

「邸園」とは、邸宅と庭園を合わせた造語です。かつての小田原には、この地の温暖な気候風土を愛し、近代日本の礎を築いた政治家や軍人、文化人が多く住み、上質な生活を営みました。かれらの足跡をたどり、小田原の輝きを見つけてみては。

市街地図 (P8-P9)

## 松永安左衛門と松永記念館・老櫓荘

明治から昭和にかけて、日本の電気事業に携わり、「電力王」と呼ばれた実業家です。古美術収集家で、茶人としても知られ耳庵と号しました。

小田原には、戦後に老櫓荘を建て、園遊会を開催するなど晩年を過ごしました。記念館には、耳庵ゆかりの品々や中河与一コレクションが展示されており、国登録有形文化財の「老櫓荘」や、野崎廣太(幻庵)の茶室「葉雨庵」なども見学・利用できます。



また、秋には、櫓をはじめ、ハゼやニシキギなど数多くの木々が黄色や紅に染まり、紅葉スポットとして親しまれています。



- 箱根登山線箱根板橋駅から徒歩10分
- あり(無料)
- 9:00~17:00(最終入館16:30)
- 見学は無料、貸室利用は有料(事前申込制)
- 12/28~1/3、燻蒸時
- 0465-22-3635

## 田中光頭と小田原文学館・白秋童謡館

土佐藩出身の武士で、坂本龍馬や中岡慎太郎は同志であり、陸援隊の副隊長として鳥羽伏見の戦いに参戦しました。維新後は警視總監、宮内大臣など政府の要職を歴任しました。



(写真提供: 多摩市教育委員会)

小田原には、南欧風洋館と純和風の別邸を建設し、隠棲しました。

現在、洋館は谷崎潤一郎や坂口安吾など地元文学者の資料を展示する小田原文学館として、和風の別邸は、詩人・北原白秋の作品などが鑑賞できる白秋童謡館として、一般公開されています。



小田原文学館



白秋童謡館

- 小田原駅東口から徒歩20分
- 小田原駅から箱根方面行きバス「箱根口」下車5分
- あり(無料)
- 9:00~17:00(最終入館16:30)
- 大人250円、小・中学生100円
- 12/28~1/3
- 0465-22-9881

※白秋童謡館は改修工事の為、平成30年7月下旬(予定)まで休館

## 黒田長成と清閑亭



戦国武将、黒田官兵衛以来の福岡藩主の家柄で、貴族院副議長を務め、その後枢密顧問官を任せられました。

小田原には、相模灘を一望できる天神山に数寄屋風の純和風の別邸を建設しました。現在、清閑亭として一般公開されており、庭園を眺めながらゆっくりお茶を楽しむこともできます。国登録有形文化財として登録されています。

- 小田原駅東口から徒歩15分
- 11:00~16:00
- 火曜日、年末年始
- 0465-22-2834

## 山下亀三郎、秋山真之と対潮閣



山下亀三郎  
(写真提供: 山下真一郎氏)



秋山真之  
(写真提供: 坂の上の雲ミュージアム)

旧山下汽船(現:商船三井)の創業者である山下亀三郎は小田原に別荘「対潮閣」を有しました。山下氏と同郷で、海軍中將として日清・日露戦争で重要な役割を担った秋山真之は、度々対潮閣を訪れており、最後も、この地で迎えました。

現在、建物はなく、跡地に石碑と説明板が立っています。

※私有地のため、立ち入りはご遠慮ください。

- 小田原駅東口から徒歩20分

## 山縣有朋と古稀庵



長州藩の武士で、明治維新後には奇兵隊の軍監となりました。明治政府では、軍政家として腕をふるい、日本陸軍の基礎をつくったほか、内閣総理大臣や枢密院議長・陸軍参謀総長なども歴任しました。

小田原には、明治40年(1907)、70歳の時に別邸を構えました。現在は、保険会社の研修施設となっており、庭園が毎週日曜日に一般開放されています。

- 箱根登山線箱根板橋駅から徒歩7分
- 日曜日のみ開放 10:00~16:00
- 1人100円(全額「小田原市ふるさとみどり基金」へ寄付)

# 小田原市街地図 Odawara city map



- ### 凡例
- |             |             |        |          |            |           |      |      |             |     |
|-------------|-------------|--------|----------|------------|-----------|------|------|-------------|-----|
| 交番          | 消防署         | 郵便局    | 鉄道駅      | 学校         | 駐車場       | 救急病院 | 公園   | 観光案内所       | 支所等 |
| コンビニエンスストア  | 銀行          | トイレ    | 障がい者用トイレ | レンタサイクル貸出所 | 神社        | 寺    | 七福神  | 周辺案内板       |     |
| AED/AED設置場所 | 公衆無線LANサービス | 街かど博物館 | 登録有形文化財  | 名所旧跡       | 天然記念物(樹木) | バス停  | 一方通行 |             |     |
| 登城ルート       | 城址公園アクセスルート | 旧東海道筋  | うめ       | さくら        | はなしょうぶ    | あじさい | はす   | アプリ(仮想空間体験) |     |

**レンタルサイクル** 貸出所

**ぐるりん** 小田原

①小田原歴史見聞館 D-6  
TEL.0465-22-5795

②小田原駅東口駐車場 C-7  
TEL.070-5456-2288



### 街かど博物館

小田原の歴史や文化を今に伝える街歩きスポットです。

小田原には古くから栄えた産業文化を今に伝える地域資産がたくさんあります。工夫を凝らした展示、お客様との会話、さらには体験を通して、小田原の産業にかかわるひと・製品・ものづくりの結びつきを知ってもらうことにより、小田原の魅力を高めようとするのが「街かど博物館」です。(現在 20館)

# 全体マップ



**D-8 小田原梅まつり**

全国的にも有名な梅の産地・曾我梅林では、約35,000本の梅が、富士山や箱根の山々を背景に咲き誇ります。まつり期間中、郷土芸能の寿獅子舞や流鏝馬など様々なイベントが行われます。



**E-5 小田原北條五代祭り**

戦国時代の武者などに扮した総勢約1,700人にも及ぶ行列が、市内を勇壮に練り歩く、本市最大のイベントです。



**E-5 小田原ちようちん夏まつり**

歴史に名を残した「小田原ちようちん」をシンボルとした夏のイベント。小学生が作った約2,000個のちようちんがお堀を彩る水上のアートフェアは、小田原の夏の風物詩です。



**E-6 小田原酒匂川花火大会**

酒匂川の河川敷を会場に花火が打ち上げられ、夏の夜を彩ります。全長約300メートルのナイマガラは見事です。



**E-5 小田原城菊花展**

市民が丹精こめて育てた約700鉢もの大輪の花や盆栽などが展示されます。小田原城を小菊で飾った総合花壇は必見です。



**ウォーキング おだわら散策マップ!**  
**小田原駅 観光案内所等で 配布中!!**

このマークはウォーキングコース



# おすすめコース&スポット

市街地図 (P8・P9) 全体マップ (P10・P11) 街博 ……街かど博物館

小田原城周辺には史跡はもちろん、江戸から箱根に続く東海道筋が今もなお歴史と伝統を受け継いでいます。この街だからこそ育まれた、なりわい・邸園・花・文化を堪能しよう。  
※それぞれの名所の位置は、スポット紹介の中の●●マークを参照してね



## ◆ 戦国時代体感コース ~気軽に「歴史」を感じる~

**スタート** 8分

**甲冑・忍者の館！小田原情報館** (有料) (D-6)

小田原城常盤木門で甲冑・着物を借り、小田原城をバックに撮影。武者やお姫様・忍者に変身して、心は戦国時代へタイムスリップ。

☑ 9:00~16:00(貸出受付15:30まで)  
☑ 大人300円 小人200円

12分

**小田原宿なりわい交流館** (F-7)

名所旧跡の案内や街歩きのお休み処として利用できる。

☑ 10:00~19:00 (11月~3月は10:00~18:00)  
☑ 無料

15分

**小田原駅** (B-7)

鉄道5社が乗り入れるターミナル駅。小田原駅東西自由連絡通路開通記念の一つとして設置した、高さ4.5m、直径2.5mの「巨大小田原ちゃん」がお出迎え。

15分

**北条氏政・氏照の墓所** (C-8)

お参りすると幸せな出会いがあると言われ、願いが叶った時、鈴を納めるのが習わしの「願かけスポット」。

**北條早雲公像** (B-7)

小田原駅西口にある高さ5.7m、重さ7tの日本最大級の銅像。牛の角に松明を結び、大軍の夜襲に見せかけたといわれる戦術「火牛の計」を再現しています。

ゴール 小田原駅

## ◆ 街かど博物館巡りコース ~「なりわい」「人」を感じる~

**スタート** 7分

**小田原ちゃん製作体験** (有料) (F-7)

「お猿のかごや」でおなじみの小田原ちゃんをオリジナルで作ることができます。

(第2・4日曜日限定)  
☑ 1人1,000円  
☑ 約90分  
☑ 小田原市観光協会 ☎0465-22-5002

15分

**小田原駅**

**かまぼこ・ちくわ製作体験** (街博 有料) (E-3)

(かまぼこ博物館) 小田原の伝統食品作りにチャレンジ。出来たてのかまぼこは絶品。(要予約)

☑ 蒲鉾・竹輪1,620円/竹輪540円  
☑ 蒲鉾・竹輪50分/竹輪30分  
※完成品を手渡すのに別途時間を要する  
☑ 梅万資料館 ☎0465-24-6262

7分

**箱根登山鉄道**

**街かど博物館** (街博)

古くから栄えた産業文化を今に伝える「街かど博物館」。現在、小田原ならではの地域産業を中心に20館。

0分

**梅万資料館**

**とうふ工房(下田豆腐店)** (街博) (C-2)

独特の雰囲気がある出桁造りの建物が目印です。

ちょっと寄り道

## ◆ 漁港&浜で自然を満喫コース ~「海」を感じ、「食」を味わう~

**スタート** 13分

**御幸の浜** (F-6)

1873年の明治天皇の行幸を記念し、以降「御幸の浜」と呼ばれています。

20分

**ひものさばき体験(ひもの体験館)** (街博 有料) (E-2)

干物の製造工程を見学・体験することができます。(午前中のみ) 日曜・祝日、第2水曜日は休み。

☑ 1人1,100円  
☑ 40分  
☑ カネタ前田商店 ☎0465-23-4741

2分

**寄木コースター製作体験** (街博 有料) (E-2)

(寄木ギャラリー) 国指定伝統工芸品の寄木細工を作ってみよう!

☑ 1人800円  
☑ 約30分  
☑ 露木木工所 ☎0465-22-5995

3分

**小田原漁港** (F-2)

アジなど相模湾の新鮮な魚介類が毎日水揚げされる市民の台所。防波堤にある小田原提灯を模した灯台は港のシンボル。

3分

**石垣山一夜城歴史公園** (E-3)

名前の由来となった城の石垣を見ながら散策路を進めば、小田原市街や相模湾といった絶景が一望できます。また、駐車場に隣接の「一夜城ヨロイツカファームマルシェ(農産物直売所)」は地元の味を堪能できる人気のスポット。

ちょっと寄り道

## ◆ 邸園巡りコース ~古き良き政財界の別邸でくつろぐ~

**スタート** 8分

**小田原邸園交流館・清閑亭** (D-5)

城址公園で遊んだ後は、邸園を眺めながら、ちょっとひと休み…。抹茶や茶菓子を楽しむことができます。

☑ 11:00~16:00  
☑ 毎週火曜日、年末年始

10分

**小田原文学館** (有料) (F-4)

1937年建築。南欧風の造りで、屋根瓦はスペインから輸入したもの。庭はいわゆる洋風庭園だが、和洋折衷の様相を呈し、四季折々の美しさを堪能できます。

☑ 9:00~17:00(最終入館16:30)  
☑ 大人250円、小・中学生100円(団体割引あり)  
☑ 12月28日~1月3日

8分

**松永記念館・老樗荘** (B-2)

日本の電力王と呼ばれ、実業界で活躍した松永安左衛門(耳庵)が設立した記念館。11月下旬~12月上旬は、美しく紅葉する庭園の散策を楽しむことができます。

☑ 9:00~17:00(最終入館16:30)  
☑ 12月28日~1月3日、燻蒸時

ちょっと寄り道

## 名産 心と技に触れる 長い歴史と風土に磨かれた味と技の冴えをご覧ください。

<b>【蒲鉾】</b> 江戸時代後期、漁業が盛んで豊富な水に恵まれていたことから、保存食品として発展し、東海道を行き交う人々の口伝えでその名が全国的に広まりました。今では、グチなどの魚を原料に、色・艶・弾力性のあるおいしい蒲鉾が作られています。	<b>【干物】</b> 豊富な水揚げを誇る港町であったことから、江戸時代に、魚の仲買業の副業として、干物づくりが発達しました。新鮮な魚の持ち味をできるだけ活かした、うす塩づくりであることが特徴です。	<b>【木製品】</b> 室町時代、京都のろくろ師集団が住みついたことから、小田原の木工の歴史が幕を開けたと言われています。樺など天然木から作られる漆器や幾何学模様魅力の寄木、自然木の色を生かした伝統工芸である木象嵌など、匠の伝統の技が現代に生きています。
<b>【梅干】</b> 小田原の梅干をプロデュースしたのは、戦国大名の北条早雲です。戦の際の保存食用に作られたものが、江戸時代には小田原産の土産となりました。特に小田原で生まれた品種「十郎梅」を使った梅干は、果肉が厚くて柔らかく、まさに天下一品です。	<b>【漬物】</b> 江戸時代、小田原の海岸には塩田が広がっており、漬物生産を支えてきました。現在でも「桜花漬」をはじめ、「古漬け」や「しその葉漬け」新鮮なイカを使用した「塩辛」など、様々な漬物が作られています。	<b>【小田原おでん】</b> 小田原を代表する練り製品をはじめ、地元の豊富な海の幸、山の幸を一つの鍋に凝縮したおでんです。地場産の梅を使った「梅みそ」を付けて食べるのが小田原おでん流。春に開催する「小田原おでんサミット」では、新しいおでん種を決定するコンテストも開かれています。
<b>【和菓子】</b> 戦国時代の北条氏、江戸時代の城主・大久保氏が茶の湯を好んだことから、小田原には優れた菓子職人が集まりました。近代には益田純翁、松永耳庵、野崎幻庵といった数寄茶人が茶会を開き、芸術品ともいべき和菓子の文化が生まれました。	<b>【ワイン】</b> 地産農産物である梅・レモン・みかん・湘南ゴールドを使った「小田原わいんシリーズ」は、小田原市を代表する特産品となっています。お酒が苦手な方には地域振興サイダーがおすすめです。湘南ゴールド	<b>【小田原ちくわ】</b> 江戸時代中期、提灯職人甚左衛門が考え出したといわれています。小田原提灯は普通の提灯と違い、中骨がリング状に独立しているため畳み込むことができ、持ち運びが容易です。また、霊木を使っていたことから、箱根越えのお守りとしても旅人の必需品でした。

# 小田原どん

～地の食材を使ったどんぶりはいかがですか～

「小田原どん」は、三つのこだわりで小田原自慢の食材をおいしく調理し、遠方のお客様をおもてないたします。

**人気急上昇!**

小田原の海と大地で育まれた新鮮な食材を一つ以上用いること

伝統工芸品・小田原漆器の器に盛って響ること

お客様に満足していただき、小田原をもっと好きになっていただけるよう、おもてなしすること

**伝統工芸の器に新鮮地場食材を満載!**  
**25店舗で展開!**

このノボリが目印!

※写真はイメージです

詳しくは公式ホームページをチェック!  
<http://genki-odawara.com>



明応9年(1500)頃、関東で理想の国家をつくらんと、大森氏を退け、北条早雲が伊豆斐山から小田原城に入りました。二代氏綱が関東支配の礎を築き、以後、北条氏は小田原を拠点として、多くの人材を上方から招き、産業を興し、着々と勢力を伸ばしていきました。三代氏康の時代には城下町の形態も整えられ、小田原は関東における政治、経済、産業、文化の中心として繁栄しました。そして、天下統一の機運が高まる中、四代氏政・五代氏直は、豊臣秀吉軍の攻撃に備えて町全体を取り囲む巨大な総構を築きました。天正18年(1590)、約20万の大軍に小田原を包囲され、約100日に及ぶ籠城戦の後、小田原城を閉城し、小田原北条氏は滅亡しました。

現在、北条氏にゆかりのある12市2町が連携し、戦国時代、五代百年にわたって領国を安寧に統治した北条五代のさまざまな偉績や魅力を全国に広く紹介し、大河ドラマ化を目指した活動を展開しています。

# 北条五代



小田原合戦時の小田原城(想像図)CG ©成瀬 京司

はこちら



<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/hojo/>

ホームページはこちら



「北条五代」を大河ドラマに!  
北条五代観光推進協議会



風魔とは、群雄割拠の戦国時代に北条早雲から五代約百年にわたって、小田原城を拠点に関八州を治めた北条氏に仕えた忍者の一党で、代々頭領は、「風魔小太郎」と呼ばれていました。毎年、8月には「忍者の里・風魔まつり」(2月22日には「忍者の日」としてイベント等を開催し、風魔忍者の周知にも力を入れています。



風魔忍者

風魔小太郎

# 観光スポットめぐりの強い味方!!



## 観光案内所

各種観光パンフレットと、おすすめスポットの情報を入手して観光名所にてかけましよう!各案内所には誰でも利用できるFree Wi-Fiを設置しています。接続方法やパスワード等は、各案内所入口に掲示してあります。



小田原駅観光案内所

小田原駅JR改札前  
9:00~17:00  
0465-22-2339  
年中無休  
Free Wi-Fi



二の丸観光案内所

小田原城址公園内  
9:00~17:00  
0465-22-8800  
12/29~1/1  
Free Wi-Fi



小田原地下街「ハルネ小田原」街かど案内所

小田原や周辺地域の見どころ、街中での過ごし方などをご案内。各種チケット販売や傘の貸出サービスも行っています。  
小田原地下街ハルネ小田原  
9:00~20:00  
0465-23-1150  
1/1  
Free Wi-Fi

## まち歩きガイド

普段は見つけることができない小田原の魅力を発見できます。ガイドの内容・料金等は各団体にお問い合わせください。



NPO法人小田原ガイド協会

小田原城址公園内二の丸観光案内所  
0465-22-8800  
☆毎週土・日・月曜と祝日(10:00~14:00)には、小田原駅JR改札前で予約なしで気軽に利用できる「駅からガイド」(1人500円)を実施しています。



NPO法人小田原まちづくり応援団

清閑亭  
11:00~16:00  
0465-22-2834  
毎週火曜日  
Free Wi-Fi

## まち歩きサービスと乗り物

観光・旅の目的に合ったサービスと乗り物をご利用ください。



小田原駅手ぶら観光センター

手荷物関連サービスをメインとした店舗です。手荷物のお預かりやお土産の発送など、まち歩きがますます便利に!各種配送サービスも承ります。



小田原宿観光回遊バス

春・夏・秋の行楽シーズンに運行。板橋・一夜城・小田原漁港を巡るルートで小田原の「見る」「食べる」「遊ぶ」を存分に楽しめます。

## レンタサイクル



心地よい風を感じながら、効率よく観光スポットをめぐることができます。



①小田原城歴史見聞館(小田原駅東口から徒歩10分)  
②小田原駅東口駐車場(小田原駅東口から徒歩3分)  
1人1日 普通自転車 300円  
電動自転車 500円(4時間) 1,000円(1日)  
(電動自転車の貸出場所は②のみ)  
※保証金1,000円(自転車返却時全額返金)  
9:00~16:30(貸出は15:30まで)  
① 0465-22-5795 ② 070-5456-2288  
③ 5/3、12/29~1/1 ④ 12/31~1/1

料金等については、2017年11月現在のものです。